

第 135 回 学長定例記者会見

日時：令和3年7月30日（金）11：00 ～ 11：30

場所：広島大学 霞キャンパス 研究棟 B 歯学部 大会議室

※ テレビ会議システムによる配信は行わない

※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 原爆の日に関連した広島大学主催行事について
～ 8月6日に広島大学原爆死没者追悼式および広島大学平和企画を実施します ～
2. 広島大学オープンキャンパス 2021 を開催します
3. 広島大学の研究者を探せる！使いやすい新システムができました

【お知らせ事項】

1. 広島大学・日本学術会議主催 日本学術会議公開シンポジウム
ジェンダード・イノベーション（Gendered Innovations）
～ 一人ひとりが主役の研究開発が新しい未来を拓く ～を開催します
2. 令和3年度地域の元気応援プロジェクトを決定

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和3年8月下旬

場所： 広島大学 東広島キャンパス

令和 3 年 7 月 30 日

原爆の日に関連した広島大学主催行事について

76 回目の原爆の日を迎えるにあたり、広島大学の関連行事をご案内します。

8 月 6 日に、広島大学原爆死没者追悼式を東千田キャンパスで開催します。広島大学に包括された旧制諸学校の教職員、学生、生徒および児童で、在職中または在学中に原子爆弾に被爆され、その後亡くなられた方々の霊を慰めるために執り行うものです。

今回は新たに 19 人を書き加え 2, 041 人となった原爆死没者名簿を奉納します。

また、死没者追悼式の後に、平和企画および広島大学・ガララ大学ピースメモリアルセンター（仮称）署名式、記者会見を実施します。今年度の平和企画は、映画「この世界の片隅に」で監督を務めた片渕 須直（かたぶち すなお）氏に「76 年前と 1021 年前のあいだで一非常事態で働き場所を得た女性たちのその後」と題してご講演いただきます。

続いて、広島大学・ガララ大学ピースメモリアルセンター（仮称）署名式および記者会見を、駐日エジプト・アラブ共和国大使館 アイマン アリ カーメル特命全権大使出席の下執り行います。

続いて、これまでの平和企画でバイオリン、ビオラを制作しましたが、今年度、被爆の記憶の継承と音楽による平和発信を目的として、被爆樹木等を素材としたチェロを制作したので、お披露目を行います。

最後に、本学教員・学生による平和祈念ミニコンサートを開催し、平和を想う場とします。

【お問い合わせ先】

財務・総務室広報部

広報グループ

TEL：082-424-3701 FAX: 082-424-6040

令和 3 年 7 月 30 日

8 月 6 日に広島大学原爆死没者追悼式および
広島大学平和企画を実施します

本学では、広島大学に包括された旧制諸学校の教職員、学生、生徒および児童で、在職中または在学中、広島に投下された原子爆弾により被爆され、その後亡くなられた方々の霊を慰めるため、下記のとおり原爆死没者追悼式を執り行います。また、同日広島大学平和企画を実施します。

なお、昨年同様、新型コロナウイルス感染症の対策および熱中症対策のため、参加人数を制限し、開催いたします。また、参加者にはマスク着用の上、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で実施いたします。

記

(1) 広島大学原爆死没者追悼式

日 時： 令和 3 年 8 月 6 日(金) 午前 10 時開式

場 所： 広島大学東千田キャンパス内
「広島大学原爆死没者追悼之碑」前
(広島市中区東千田町一丁目 1 番 89 号)

式次第： 開式の辞
原爆死没者名簿奉納
黙とう
追悼の辞
献花及び献水
閉式の辞

※今回新たに確認された死没者 19 人を書き加えた原爆死没者
名簿(記載数 2,041 人)を奉納

<参考>

閉式後、引き続き、「原爆死没者遺骨埋葬の地碑」(東千田キャンパス内)に、広島文理科大学および広島高等師範学校の関係者による献花および献水を執り行います。

(2) 広島大学平和企画及び広島大学・ガララ大学ピースメモリアルセンター（仮称）署名式／記者会見

広島大学平和企画 「芸術から平和を想う」

日 時：令和3年8月6日（金） 10:45～12:45

場 所：広島大学東千田未来創生センター4階 401, 402
（広島市中区東千田町一丁目 1 番89号）

【概 要】

越智光夫学長挨拶

第Ⅰ部 平和センター講演会 10:50～11:45 ※別紙1参照

「76年前と1021年前のあいだで——非常事態で働き場所を得た女性たちのその後——」

講演者：監督 片渕須直氏

映画「この世界の片隅に」 / 「この世界の（さらにいくつもの）片隅に」

広島大学・ガララ大学ピースメモリアルセンター（仮称）署名式及び記者会見
11:50～12:05

H.E.Mr. Ayman Aly Kamel Mr.アイマン アリ カーメル 閣下
駐日エジプト・アラブ共和国大使館 特命全権大使

第Ⅱ部 被爆樹木を素材とした楽器の披露 12:10～12:20

被爆の記憶の継承と音楽による平和発信を目的として、被爆樹木を素材とした楽器（チェロ）を制作し、披露する。

1. 企画説明（国際室 嘉陽研究員） ※別紙2参照
2. 被爆樹木チェロの披露

第Ⅲ部 本学教員、学生による平和祈念ミニコンサート 12:25～12:45

広島大学教育学部第四類音楽文化系コースの教員・学生が演奏を行い、平和を祈念する。

1. 演目等解説（教育学部 高旗教授）
2. 教育学部第四類音楽文化系コース教員及び学生による演奏（3曲程度）

* 演奏では、被爆樹木を素材としたチェロ、バイオリン、ビオラを使用

【お問い合わせ先】

（原爆死没者追悼式について）

財務・総務室財務・総務部総務グループ 谷、松井
TEL:082-424-6032 FAX:082-424-6020

（平和企画について）

第Ⅰ部……平和センター 事務室

下手（しもて） TEL:082-542-6975
FAX:082-245-0585

エジプト関係

国際室国際部グローバル化推進室

梅下（うめした） TEL:082-424-6046

第Ⅱ・Ⅲ部…国際室国際部グローバル化推進グループ

長谷川（はせがわ） TEL:082-424-6046

嘉陽（かよう） TEL:082-424-4566

FAX:082-424-6179

別紙1

2021年7月13日

広島大学平和センター

【平和企画 第Ⅰ部 平和センター講演会】

講演者： 監督 片渕須直氏

演題：「76年前と1021年前のあいだで——非常事態で働き場所を得た女性たちのその後——」

片渕監督によるご講演内容：

「すずさんは戦時中の家庭の主婦でした。しかし、同じ頃、戦時中という非常事態の中にあつたがために、職業につくことになった女性たちもいました。たとえば、8月6日原爆の日の朝にラジオの防空放送を担当していたのは女性アナウンサーでした。そうした人たちはその後に職を失うことになります。何が起こったのでしょうか。

また片渕の次回作では、およそ1000年少し前の時代に女性として職をもっていた清少納言が登場します。彼女の職業意識にも触れつつ、お話してみたいと思います。」



片渕監督は、1996年『名犬ラッシー』で監督デビュー。2001年に初の映画『アリーテ姫』が公開される。2009年に『マイマイ新子と千年の魔法』で、文化庁メディア芸術祭アニメーション部門〈優秀賞〉を受賞した。2016年公開の『この世界の片隅に』は、日本アカデミー賞〈最優秀アニメーション作品賞〉を受賞、第67回芸術選奨では、多くの観客に感動を与えたことが評価され〈文部科学大臣賞（映画部門）〉を受賞した。また、2017年には

世界4大アニメーション映画祭の一つであるアヌシー国際アニメーション映画祭において、〈長編部門審査員賞〉を受賞し、日本のアニメーション監督に希望を与えた。『この世界の片隅に』は、広島県の江波に暮らす少女「すず」さんが、知り合いもない呉に嫁ぎ、少しずつ居場所をつくりながら、貧しい生活の中で小さな喜びを見出していく過程と、戦火の中で大切なもの、愛する人々を失いながらも常に前へ進んでいく姿を描いている。一般市民の生活の目線から、戦争と原爆を描いたことで、「戦争もの」の映画に新風を吹き込んだ。原作はこの史代氏による『この世界の片隅に』である（双葉社）。同作のロングランを受けて、戦時下を生きる女性たちの心の奥に秘められた思いを描き出したもうひとつの映画『この世界の（さらにいくつもの）片隅に』を2019年に公開した。現在は女性の生きかたをテーマに新作を制作中である。

実は、『この世界の片隅に』は、クラウドファンディングによって出資を募り、制作に至った作品である。ファンに支えられ、片渕監督自身も資金難や数々の挫折を味わいながらも本作品の完成にこぎつけたという。「逆境を乗り越える映画監督」という異名もある。口コミとSNSで全国に広がった。作品の素晴らしさもさることながら、各地での舞台挨拶やサイン会などでも、ファンとの交流をおろそかにしない誠実さは、作品の作り込み方にも現れている。片渕監督は、どのシーンも入念な調査をもとに、登場人物が生活する空間を再現している。時代設定や背景も、街の看板や小道具、流行歌、ことばやしぐさの一つ一つに至るまで、調べ上げた上に実証し確認をする。まさに行動する研究者である。

例えば2011年、『この世界の片隅に』の制作段階で、監督は原爆で失われる前の広島を念入りに調査中、被爆者が記憶だけに頼って描いた『消えた町 記憶をたどり 絵と証言 森富茂雄』（2011年発行）に出会い、編集者のヒロシマ・フィールドワーク実行委員会代表、中川幹郎氏に連絡した。大正屋呉服店（現 レストハウス）境界の場面を描くために、中川氏を通じて当時の様子を知る人に確認を取って描き直すことを繰り返した。翌年2013年には、同実行委員会で森富茂雄さんほか被爆者や当時を知る人々と交流し、その後何度も広島を訪れて、人々の知識と声を、作品の様々なシーンに反映していった。

そして2019年、『この世界の片隅に』が、市民の目線で戦争と被爆の記憶を継承する作品として、各国でも注目される中、フィールドワーク実行委員会から英語版を出版する計画が生まれた。平和センターのファンデルドゥース瑠璃が相談を受けて、日英翻訳と付録地図の作成を担当し、編集に携わった。中川夫妻や森富夫妻、被爆者の方々、市民の方々との協働作業で、2020年8月5日に出版にこぎつけた。関係者全員がボランティアである。広島平和記念資料館と広島市観光政策部には、専門的な助言を頂いた。

付録のクリアファイル用にと、片渕監督は、『この世界の（さらにいくつもの）片隅に』のワンシーン、大正屋呉服店・大津屋の場面のスチルを、快く提供くださった。これもまた、片渕須直監督らしいエピソードである。



◎この史代・双葉社・「この世界の（さらにいくつもの）片隅に」製作委員会

「この世界の（さらにいくつもの）片隅に」より。

【被爆樹木等を素材とした楽器（チェロ）制作について】

国際室 嘉陽礼文

●使用した被爆樹木等について：

【被爆樹木】

- ・被爆樹木および被爆者埋葬地に自生していた樹木の材木を使用
- ・被爆樹木は爆心地から約 370m 地点にあるシダレヤナギで、2017 年 12 月の養生作業の際に一部伐採したもの。所有者立会いのもと、許可を得て取得した。
- ・埋葬地樹木は 2018 年 4 月に広島市南区似島の原爆死没者御遺骨発掘作業の際に発掘地の立木を伐採したもので地権者の許可を得て取得した（両樹木ともに使用目的として楽器制作も承諾済み）。
- ・以上の材木を一部に使用して 2019 年にバイオリン、2020 年にビオラの制作実績があり楽器制作に耐えうる素材であることを確認済み。

（バイオリンは本体の側板、背板の象嵌細工、テールピース、あご当て、糸巻、エンドピンに使用した）（ビオラは本体の側板、背板の象嵌細工、あご当てに使用した）

【被爆レンガ】

- ・被爆建物のひとつである広島陸軍兵器補給廠（広島陸軍兵器支廠）建物（戦後に本学医学部の 3 号館として使用されていた建物）のレンガ破片が 2020 年 1 月に本学霞キャンパス内の下水道工事の際に発見された。この一部を、楽器本体のネック部分と表板に埋め込み、あわせて、同レンガの粉末を混入したニスを作成し、楽器表面に塗布した。

●制作について：

- ・三原バイオリン工房の三原博志氏（イタリア・クレモナ国際バイオリン制作学校にて学ぶ、糸崎在住）に制作を依頼
- ・チェロの一部（側板等）の素材として被爆樹木等を使用、また装飾とニスの素材の一部に被爆建物のレンガ破片を素材として使用し楽器を制作した。

※本来は材木を乾燥させる年数が必要であるため、近年に採取した被爆樹木等のみの素材ではチェロ一挺を制作することが難しい。楽器全体の強度の問題を解消するために、昨年に引き続き今回は一部（側板等）の素材に使用して制作を実施した。

●チェロ制作で被爆樹木等の材木及び被爆建物のレンガ破片を使用する部位について：

- ・被爆樹木シダレヤナギ ⇒ 背板の象嵌細工（板にはめ込む装飾）
- ・埋葬地樹木エゴノキ ⇒ 側板全体の表面部分（上部・中部・下部の 6 ヲ所）
- ・その他の部分はヨーロッパとカナダからの輸入材（カエデ等）を使用
- ・広島陸軍兵器補給廠レンガ ⇒ 表板の一部、ネック部分の一部、ニス、
- ・被爆者感情に配慮し、ニスは茶色系の色で仕上げる予定（赤・オレンジ色系の色は炎や血液、ヤケドを連想させてしまう恐れがあるため、昨年は黄色系の色で仕上げた）
- ・シダレヤナギの爆心地からの距離は、広島市ホームページから引用『被爆樹木リスト』（平成 31 年 4 月 1 日現在）<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/48/9262.html>

【被爆樹木、埋葬地樹木の採取と、それを素材の一部に使用したチェロ制作工程の様子】



被爆シダレヤナギ（中区青少年センター西側）と約 240m 離れた原爆ドーム遠景
（被爆シダレヤナギから原爆ドームまでの距離は嘉陽がウォーキングメジャーで計測）



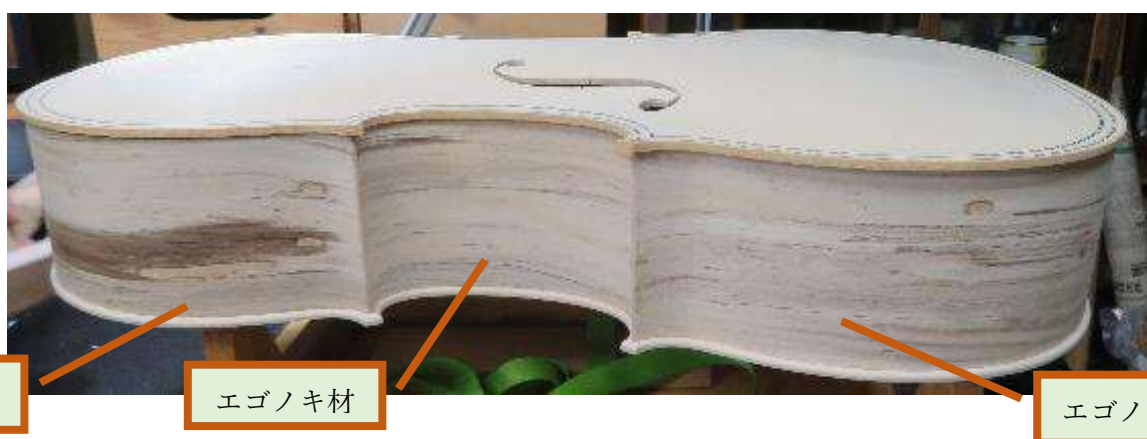
2017 年 12 月の養生作業における採取の様子、青○位置にあった腐食部分を切断したもの



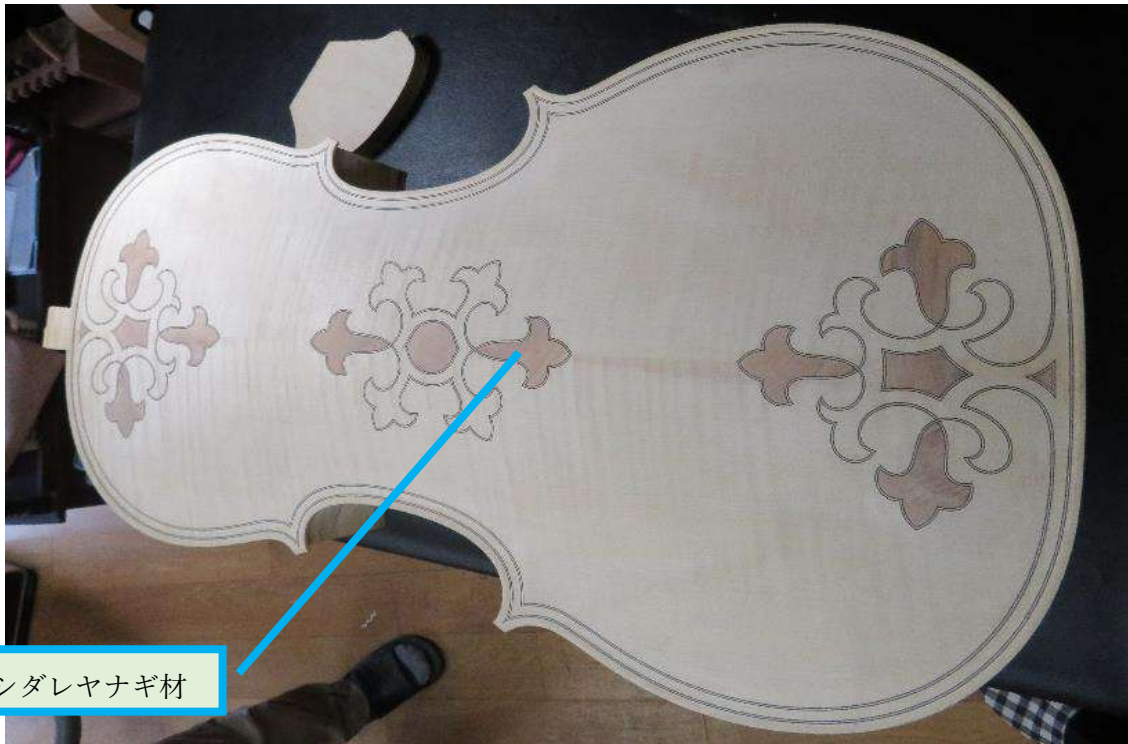
2018 年 4 月の似島小筏地区における原爆死没者御遺骨発掘作業の際に伐採したエゴノキ
この樹木から 3～4m 離れた地点から被爆者とみられる御遺骨が発見された。



三原バイオリン工房にて、チェロ制作中の三原博志氏（2021年5月12日）



制作途中のチェロ（側板部分、まだ全体にニスを塗っていない状態（2021年5月12日）



背板の象嵌細工における茶色の部分 13 ヲ所にシダレヤナギ材を使用した。ニスはまだ塗っていない状態（2021 年 5 月 12 日）



製材作業の様子（2021 年 5 月 12 日）



製材中の材木



【広島陸軍兵器補給廠レンガの採取と、素材の一部に使用したチェロ制作工程の様子】



【工事の様子】

地下 1.5 メートル地点のレンガ材

霞図書館北側道路、左後方は献体者慰霊碑 (2020 年 1 月 15 日)



レンガ材の採取の様子（2020 年 5 月 15 日）



レンガ材の切り取り作業の様子と、約 2 ミリ厚に切り取ったレンガ材（2021 年 5 月 12 日）



レンガ材切り取り作業の際に出た粉末を集めてフルイに通した状態（2021 年 5 月 12 日）

令和 3 年 7 月 30 日

広島大学オープンキャンパス 2021 を開催します

今年度の広島大学オープンキャンパスは「現地開催」と「オンライン開催」のハイブリッドで実施します。

- 現地開催：8 月 19 日（木）、同 20 日（金）
- オンライン開催：8 月 16 日（月）～22 日（日）

現地開催は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、高校生・受験生を対象として、個人による事前申込制とし、東広島・霞・東千田の各キャンパスで実施します。一方、オンライン開催は、学長による基調講演や模擬授業の動画のオンデマンド配信に加え、オンライン個別相談会（リアルタイム）などの企画を用意しており、どなたでもご参加いただけます。

広島大学に興味・関心のあるみなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

【お問い合わせ先】

教育室教育部

入試グループ 大田・中村

TEL:082-424-4656・6172 FAX:082-424-6180

広島大学 オープンキャンパス 2021

「現地」と「オンライン」のハイブリッドで開催

現地開催

8/19 thu・20 fri

オンライン開催

8/16 mon～22 sun

HIRODAI EXPO

広大で「知」と出会い、「未来」を発見しよう

現地開催 要事前申込

開催日 8/19 thu・20 fri

東広島（東広島市）／霞・東千田（広島市）の各キャンパスで開催

オンライン開催

開催日 8/16 mon～22 sun

オンライン個別相談会も実施 要事前予約



広島大学
マスコットキャラクター
「ひろティー」

オープンキャンパスの
詳細はこちらから！

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/oc>



▶ 問い合わせ先

広島大学高大接続・入学センター

E-mail nyusi-group@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学

令和 3 年 7 月 30 日

広島大学の研究者を探せる！
使いやすい新システムができました

2021 年 7 月 1 日より、新しい研究者検索システムの運用を開始しました。
広島大学に所属する研究者約 1,900 人の専門分野や研究業績を「ジャンル」・
「SDGs」・「領域」・「50 音順」からお探しいただけます。

検索ボックスによる、キーワード検索も可能です。

- ◆ ジャンルから探す：「社会と暮らし」や「平和問題」など、一般の方にも分かりやすいジャンルから検索できます。
- ◆ SDGs から探す：SDGs17 の目標から検索できます。
- ◆ 領域から探す：広島大学の専門領域と教育プログラムから検索できます。
- ◆ 50 音順から探す：氏名による 50 音順検索ができます。

メディアの方向けの取材申込フォームもございますので、検索から取材申込までスムーズに行うことができます。

社会に対する情報発信機能を強化するために、メディアの方と研究者を結ぶだけでなく、分野を超えた研究者間の連携やアプローチを育むインターフェースを目指します。

企業や保護者、高校生の皆さまにも、広くご活用いただけます。

◇ 研究者ガイドブック（日本語版）

<https://www.guidebook.hiroshima-u.ac.jp/>

◇ 研究者ガイドブック（英語版）

<https://www.guidebook.hiroshima-u.ac.jp/en>

【お問い合わせ先】

財務・総務室

広報部広報グループ

E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

[日本語](#)


あ ぎ 大 学

[Home](#) >
 [英語・国際](#) >
[研究者ガイドブック](#)

研究者ガイドブック

2021年06月29日 更新

氏名や研究室のワードを入力して検索してみてください。ひらがな検索も可能です。

ジャンルから探す	SDGsから探す	領域から探す	10言語から探す
----------	----------	--------	----------

- [1 社会と暮らし](#) 23件
- [1 職業生活](#) 11件
- [1 教育](#) 11件
- [1 経済・産業](#) 26件
- [1 文化](#) 82件
- [1 自然環境ほか](#) 26件
- [1 健康・スポーツ](#) 65件
- [1 科学（技術をつくる）](#) 314件

- [1 芸術関係](#) 13件
- [1 会議生活](#) 26件
- [1 経済](#) 20件
- [1 法律](#) 10件
- [1 福祉](#) 219件
- [1 ライフデザイン・防災](#) 29件
- [1 特殊（非常時の対応）](#) 150件
- [1 健康・医療](#) 519件

本字への取材について

本ページの取材については、以下の連絡先までご連絡ください。

広島大学広報グループ
 E-mail: info@office.hiroshima-u.ac.jp | @hirodai(おぼろけ)に返信してください。
 TEL: 082-424-2101 / 2140 / 1901 / 082-424-5040
 〒733-8511 広島市東区みよさへ

取材申込フォーム

(トッブページ)

[illegible]

(教員情報詳細ページ)

令和 3 年 7 月 30 日

広島大学・日本学術会議主催
日本学術会議公開シンポジウム
ジェンダード・イノベーション (Gendered Innovations)
～ 一人ひとりが主役の研究開発が新しい未来を拓く ～
を開催します

ジェンダード・イノベーション(科学や技術、政策に性差分析を取り込むことにより、新たな視点や方向性を見だし、真のイノベーションを創出する)の重要性が、今、認識されるようになっていきます。

このシンポジウムを通じて、研究開発や社会活動のあらゆる場面において、さまざまな視点と角度から検討し取り組むことの重要性を、社会のあらゆる立場の方々(とくに、次代を担う若い世代の方々)と一緒に考えます。

会	場	zoom ウェビナーによるオンライン開催
日	時	2021 年 8 月 18 日(水) 13:30～17:45
参 加 費		無料
詳細と申込方法		以下のサイトから、事前に参加申込フォームより登録をお願いいたします。 https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/science_council_of_japan
申 込 締 切		2021 年 8 月 15 日(日) 24:00

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 企画グループ 稲鍵
TEL：082-424-4497
E-mail：gakujutu-project@office.hiroshima-u.ac.jp



公開シンポジウム



広島大学

ジェンダード・イノベーション

～一人ひとりが主役の研究開発が新しい未来を拓く～

Gendered Innovations

令和3年 8月18日 水 13:30 | 17:45

開催趣旨:ジェンダード・イノベーション(科学や技術、政策に性差分析を取り込むことにより、新たな視点や方向性を見だし、真のイノベーションを創出する)の重要性が、今、認識されるようになっていく。研究開発や社会活動のあらゆる場面において、さまざまな視点と角度から検討し取り組むことの重要性を、社会のあらゆる立場の方々、(とくに、次代を担う若い世代の方々)と一緒に考える。

プログラム

13:30 開会挨拶

梶田 隆章(日本学術会議第三部会員・会長, 東京大学宇宙線研究所教授)

吉村 忍(日本学術会議第三部会員・部長, 東京大学副学長・大学院工学系研究科教授)

越智 光夫(日本学術会議第二部会員, 広島大学学長)

総会司会

北川 尚美

(日本学術会議第三部会員, 東北大学大学院工学研究科教授)

13:40～14:00 趣旨説明

渡辺美代子(日本学術会議連携会員・性差に基づく科学技術イノベーションの検討小分科会委員長, JST 副理事・ダイバーシティ推進室室長)

14:00～14:45 基調講演(講演30分, 質疑応答15分)

自然科学・工学におけるジェンダード・イノベーション(同時通訳)

Londa Schiebinger(スタンフォード大学ジョン・L・ハインツ科学史教授)※Zoomライブ講演予定

14:45～15:00 休憩

15:00～16:30 講演

データから見える日本の姿とその未来

相田美砂子(日本学術会議第三部会員, 中国・四国地区会議代表幹事, 広島大学特任教授・学長特命補佐(研究人材育成担当))

ジェンダーバイアスを生む心のしくみ

森永 康子(広島大学大学院人間社会科学研究科教授)

ICTが紡ぎ出すダイバーシティ推進の未来像

平川 正人(島根大学大学院自然科学研究科教授)

薬物有害事象の発現リスクにおける性差分析

石澤 有紀(徳島大学大学院医歯薬学研究部准教授)

性差医療の現状と今後の展望

片岡 仁美(岡山大学病院ダイバーシティ推進センター教授)

「自然体」—人間中心を追求したMX-30開発

竹内都美子(マツダ株式会社人事本部部長)

参加申込方法 オンライン開催

8月15日(日)24:00までに、下記URLまたは右記QRコードからお願いします。

https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/science_council_of_japan

16:30～16:40 休憩

16:40～17:40 パネルディスカッション—「他人事」ではなく「自分事」に—

モデレータ 堀 利栄(日本学術会議第三部会員, 愛媛大学大学院理工学研究科教授, 副学長(ダイバーシティ担当))

パネリスト 渡辺美代子, 相田美砂子, 森永 康子, 平川 正人, 石澤 有紀, 片岡 仁美, 竹内都美子

白川 俊之(広島大学大学院人間社会科学研究科准教授)

今村 維克(岡山大学大学院自然科学研究科教授)

高山弘太郎(日本学術会議第二部会員, 豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授, 愛媛大学大学院農学研究科教授)

17:40 閉会挨拶

相田美砂子(日本学術会議第三部会員, 中国・四国地区会議代表幹事, 広島大学特任教授・学長特命補佐(研究人材育成担当))

17:45 閉会

主催:日本学術会議第三部, 日本学術会議中国・四国地区会議, 日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会, 国立大学法人広島大学

共催:国立大学法人愛媛大学, 国立大学法人岡山大学, 香川大学, 高知県公立大学法人高知工科大学, 国立大学法人高知大学, 国立大学法人島根大学, 国立大学法人徳島大学, 国立大学法人鳥取大学, 国立大学法人鳴門教育大学, 国立大学法人山口大学, 国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム(牽引型/代表:広島大学), 四国発信!ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト(牽引型/代表:徳島大学), SAN'INダイバーシティ推進ネットワーク(牽引型/代表:島根大学), やまぐちダイバーシティ推進加速コンソーシアム(牽引型/代表:山口大学), SHINEプログラム(先端型/岡山大学), 未来を拓く地方協奏プラットフォーム(HIRAKU)(代表:広島大学), 地方協奏による世界トップクラスの研究者育成(HIRAKU-Global)(代表:広島大学)

後援:公益財団法人日本学術協力財団

お問い合わせ:広島大学 学術・社会連携室 TEL 082-424-4497 E-mail gakuju-tu-project@office.hiroshima-u.ac.jp



令和 3 年 7 月 30 日

令和 3 年度地域の元気応援プロジェクトを決定

広島大学は、本学の学術的な蓄積や教員・学生等の力を活用し、地域課題の解決や地域活性化などに貢献するため、令和元年度から「地域の元気応援プロジェクト」を行っています。

地域の元気応援プロジェクトとは、地域社会や地域経済の維持や活性化などの様々な課題に取り組んでいる団体から、自分たちだけでは解決が難しい活動テーマをいただき、教員・学生と地域の 3 者がチームを組んで調査・研究や実践活動などに取り組むものです。

令和 3 年度は、地域から 16 件の活動テーマを提案いただき、学生・教員とのマッチングを行った結果、12 件のプロジェクトチームが結成されました。いずれも地域の活性化に資するものとして、事業を採択しましたが、そのうち、新規申請が 7 件、令和元年度の採択プロジェクトからの申請が 5 件です。（助成額は、原則として 30 万円～50 万円）

本学では、専門性の高い先端的な研究とともに、その研究成果を地域課題の解決に活かす実践活動に取り組んでいます。

本事業においても、SDGs の目標 11 住み続けられるまちづくりをめざして、学生と教員が地域の方とともに実践活動に取り組むことで、地域の元気を少しでも盛り上げたいと考えています。

広島大学地域の元気応援プロジェクト紹介 URL

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/ccc2>

【お問い合わせ先】

学術・社会連携部 地域連携部門 三戸
TEL:082-424-5871

令和3年度応募事業

広島大学地域の元気プロジェクト

Hiroshima University



令和3年7月30日
広島大学 学術・社会連携室

令和3年度 地域の元気応援プロジェクト 応募事業一覧

No	テーマ	地域団体名	教員		
	レモンと共生する島 賑わい創出の島づくり	せとだレモン祭実行委員会	人間社会科学研究科	准教授・富永	美穂子
	楽しゅう飲みん茶い	まほろばくろたに	人間社会科学研究科	准教授・伊藤	奈保子
	コロナ禍での持続可能な地域活動のための文化・情報基盤創生プロジェクト	土里夢創房 あぐり	先進理工系科学研究科	助教・佐々木 准教授・造賀 教授・餘利野	豊(責任者) 芳文 直人
	中山間地域と大学を結び、世代を超えた学びの拠点を作ろう	つくれば工房	統合生命科学研究科	准教授・彦坂	暁
	丸木位里と故郷・飯室 マップ作成、作品調査プロジェクト	プラットフォーム安芸飯室運営委員会	人間社会科学研究科	准教授・多田羅	多起子
	島地域活性化「学際融合」ドキュメンタリー映画プロジェクト	潮祭(https://shio-sai.net)	人間社会科学研究科 (国際共創学科)	助教・渠	蒙
	小原の憩いの場づくり「小屋のデザインプロジェクト」	NPO 法人ぷらっとほーむ小原	先進理工系科学研究科	教授・田中貴宏	
	三段峡ミュージアム構想	特定認定NPO法人三段峡ー太田川流域研究会（さんけん）	統合生命科学研究科	教授・中坪	孝之
	地域と大学が連携した湯来町における、オオサンショウウオの基礎生態調査と環境保全活動	NPO 法人湯来観光地域づくり公社	総合博物館	准教授・清水	則雄
	移住体験ツアーの開発 × とびしまライフ	とびしまライフ	産学連携推進部, スタートアップ推進部門	助教・Zollet Simona	
	「みんなの夢アイディア」の実現で「呉をワンダーランドに！」	呉自社商品開発協議会	人間社会科学研究科	准教授・川田	和男
	久比地区の水利用等住環境に関するサステナビリティの確立のための広島大学の瀬戸内拠点造り（水利用実践編）	一般社団法人まめな	先進理工系科学研究科	教授・小野寺	真一

地域の元気応援プロジェクトの制度概要

Hiroshima University

大学の資源を活用した地域との連携

令和元年度からスタートした「広島大学地域の元気応援プロジェクト」は、学生・教員・地域団体の3者でチームを組んで、地域から提案があった地域課題の解決や地域活性をめざす取組を、広島大学が支援するものです。広島大学の地域との結びつきを大切にするという理念は、開学以来、一貫して変わることはなく、国際化の展開とともに「地域に根差す大学」として様々な取組みをしています。

■応募対象者

広島大学の学生＋広島大学の教員＋地域団体等
(地域と学生・教員により、連携して提案することが必要)

■募集等の日程

- ・募集 4月
- ・マッチングイベント(地域と学生・教員の出会い) 6月
- ・審査会 7月(学生・教員・地域によるプレゼン)
- ・事業実施 8月～2月(7か月)
- ・報告会 3月

■事業予算・採用件数

全体予算 500万円

採用件数 10件 (1件30万円～50万円)程度

地域社会が抱える課題への取組

地域社会と大学の双方の活性化

- ◇地域の人たちだけでは、解決が難しい課題
↓
◇広島大学の学生・教員が地域と一緒に具体的な事業を提案
↓
◇学生・教員・地域で活動し、地域を元気にする

SDG s の目標 1 1

・住み続けられるまちづくりを

- 令和元年度以降の採択テーマ
- 1.安芸太田町 三段峡インバウンド
- 2.東広島市志和 地域の学びの拠点形成
- 3.呉市久比地区 持続可能な水資源確保
- 4.呉市中通 商店街の賑わい創出
- 5.呉市音戸 散策マップ制作
- 6.呉市音戸 地域の資源掘り起こし
- 7.三原市大和町 浅野家献上茶の復活
- 8.尾道市瀬戸田町 レモン祭り企画・運営

レモンと共生する島 賑わい創出の島づくり

せとだレモン祭 実行委員会

地元企業との
レモンを使った
商品開発

賑わい創出

レモン祭&瀬戸田
地域のPR活動

瀬戸田港～祭会場
へのルート
の充実

安心・安全

人の流れの
仕組み作り

知ってもらう

SNS

注目度

商品開発



貯金箱

備後絣きんちゃく

「黒谷茶るま」

あなたに幸せを呼ぶ
三原神明たるま

三原神明の御朱印
1. 御朱印がある(緑色)
2. 御朱印が書いてある
3. 御朱印の裏面に
4. 御朱印の裏面に
5. 御朱印の裏面に

親睦会
2019年10月27日



コロナ禍での持続可能な地域活動のための

文化・情報基板創生プロジェクト

コロナ禍

ほとんどの
文化行事中止

発表の場がないため
文化サークルでは活動衰退

引きこもり
会話減少

地域活動全体が低迷, 住民間のコミュニケーション
が難しくなっている

広島大学

コロナ禍での持続可能な
文化活動の形・ 意見・情報交換の場を模索

土里夢創房あぐり

提案・体感

スマホやPC
意見・情報交換の場

コロナ禍での持続可能な

仮想発表会

仮想文化展示会⁶



中山間地域と大学を結び、世代を超えた学びの拠点を作ろう

— 中山間地域での持続可能な暮らしをめざして、地域の人たちと共に学び、地域を元気に —



ものづくりを楽しみ、ものづくりを通して学ぶ活動を進めてきた。この中で、地域の若者、学生、親世代、シニア世代などに様々な形で学びの場を提供してきた。



「縁もゆかりも」という、広島大学の学生有志で地域活動を行っている団体。現在は、志和堀の茅葺き民家の保全、活用のプロジェクトに取り組んでいる。

志和堀のほたる荘/つぐれば工房を拠点に、これまでの活動を継承しつつ、今年度は特に以下の活動を進めていきたい：

■ 地域の資源・素材を活かしたものづくりを暮らしに活かす

- 衣：草木染め、染料植物や綿の栽培・活用、織物、編み物
- 食：野草食、ハーブの栽培・活用、ジビエ料理
- 住：森林資源を使った木工、茅葺民家の保全と活用

SDGs 4, 12, 15



草木染め

■ ものづくりプロジェクトで新しい技術を学ぶ

- 電子工作/プログラミング/3Dプリンタ等の先端技術の活用
- ソーラー発電とICTによるスマート農業実験プロジェクト
- 学んだ技術を農業などの地域産業に活かす

SDGs 4, 7, 9



電子工作

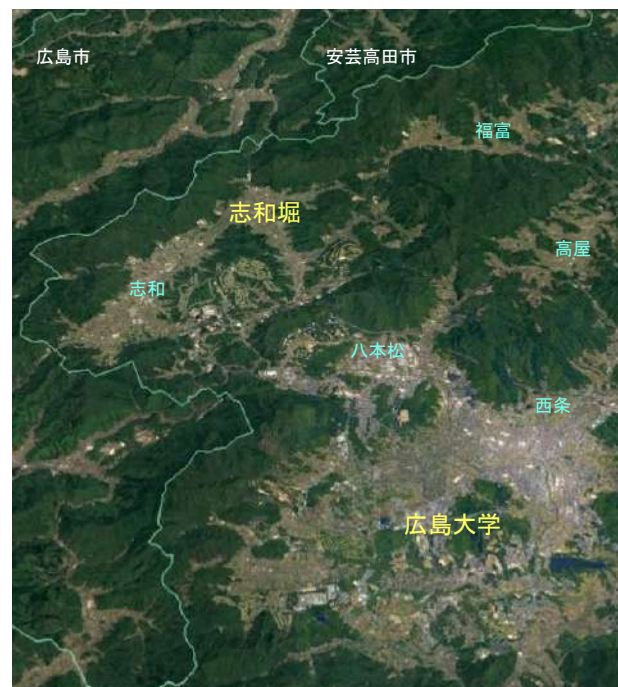
■ 誰もが生涯、学び続けられる地域を

- 自分の学びを自分で作る「つぐればジュニア」
- 小・中学生向けのものづくりワークショップ
- シニア世代向けのIT体験会
- ほたる荘を中心とした地域ライブラリー機能の拡充

SDGs 4, 11



ものづくりワークショップ



ほたる荘



丸木位里と故郷・飯室 マップ作成、作品調査プロジェクト

丸木位里（1901-95）

安佐町飯室出身。原爆投下直後の広島を妻・赤松俊子（丸木俊）と主に描いた連作《原爆の図》の作者として知られる。

旧安芸飯室駅舎

廃線となった可部線の廃線敷の一部や旧駅舎の保存活用。2017年から4回にわたって《原爆の図》の複製展示を実施。



マップ作成

- ・聞き取りや関連書籍による丸木位里ゆかりの地の抽出
- ・情報整理、マップ作成
- ・マップ配布と旧安芸飯室駅舎での掲示（→地域拠点化）

作品調査

- ・地域所有作品の調査（公民館、社寺、個人所有）



丸木位里「滝」（安佐公民館蔵）

展示と講演会

- ・郷土の画家再認識の機会として地元公民館に専門研究者を招き講演会を開催
- ・マップ作成の過程で得られた知見をまとめてパネル展示

地域と学生・教員の協働 地域の価値を再発見し次世代へつないでいく

丸木位里に関するマップ作りや講演会の実施、成果の展示を通じて

- ・郷土の画家を再認識し **地域で作品を保存** する
- ・高齢化により **記憶の伝承** が途切れないよう、**平和について考え話し合うきっかけづくり**
- ・平和発信の場としてアピールし、**安佐町への訪問者** を増やす

※画像出典
背景、作品「滝」：『ふるさとまち歩き 安佐町の魅力再発見』広島市安佐公民館運営委員会、2019年

島地域活性化「半学半創」ドキュメンタリー映画プロジェクト

田中 佐知男（潮祭実行委員会会長・代表） 渠 蒙（人間社会科学研究科 国際共創学科 助教） ナスル エラヘ（国際共創学科IGS学生代表、その他2~4年生5名以上）



大崎下島御手洗



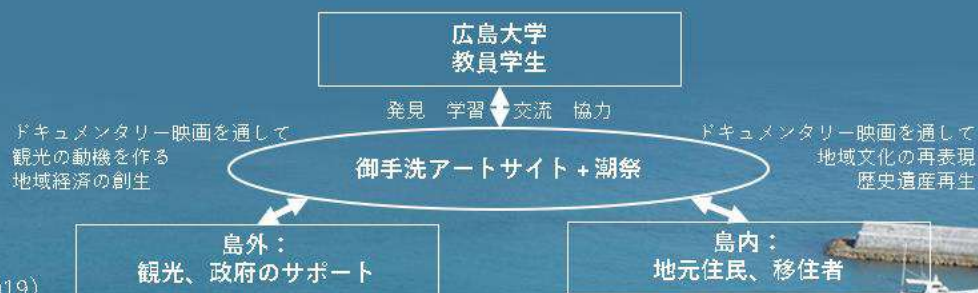
高齢者占比67.4 % (2019)

プロジェクトの目的（助成期間）

本プロジェクトの長期的な目的は、広島大学国際共創学科IGSの学生によるドキュメンタリー映画を通じた島地域文化主導の活性化することである。

活動内容

- 1). 調査研究：地域の歴史、文化、芸術に関することを勉強する。
- 2). アート作り：学生と島民一緒にドキュメンタリー映画を作る。
- 3). 発表段階：このプロジェクト中のすべてのアートワーク、アクションリサーチは、プロジェクト後に地域住民に展示される。



小原の憩いの場づくり 「小屋のデザインプロジェクト」

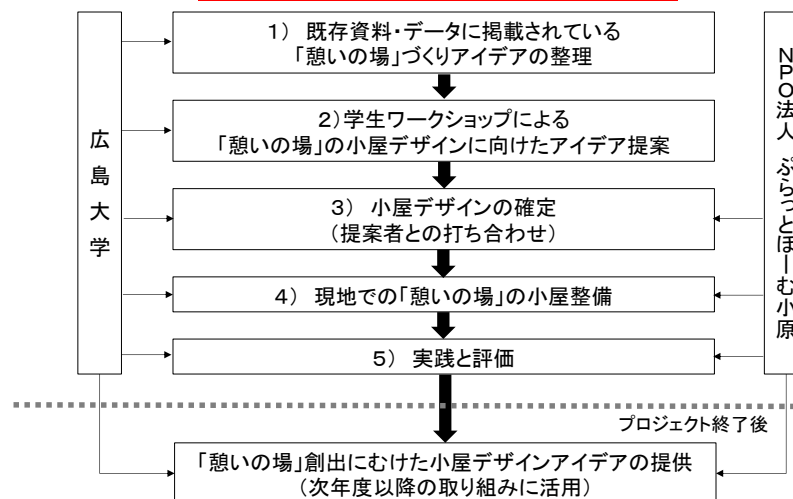
小原地域の将来イメージ
(2018年度「広島大学地域連携推進事業」で作成)

小建築のデザイン・施工
(2019年度「地域の元気応援プロジェクト」で作成)



本プロジェクトの進め方

これまでの成果を活用



申請者のグループの
これまでの経緯・成果

三段峡ミュージアム構想



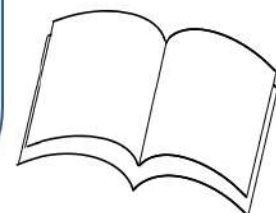
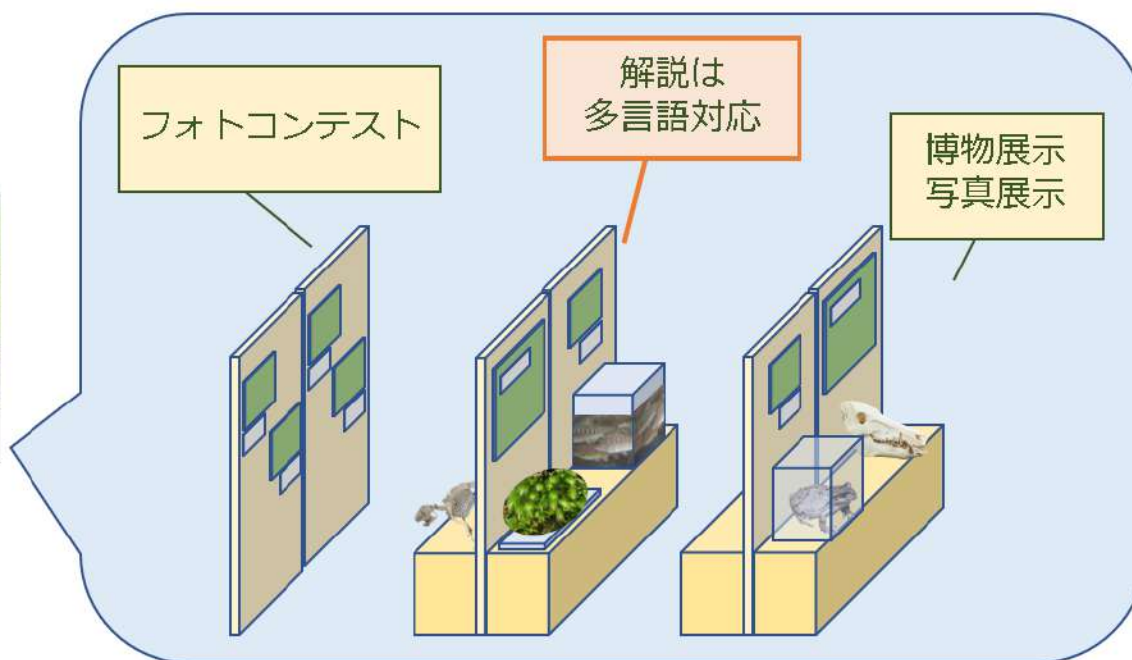
目的

- ①三段峡の魅力や楽しみ方を発信し、主体的な体験と学びの場として三段峡の新たな価値を確立
- ②地域の内外から三段峡の魅力を発見・発信する基盤を整え、地域全体の活性化を目指す

活動内容



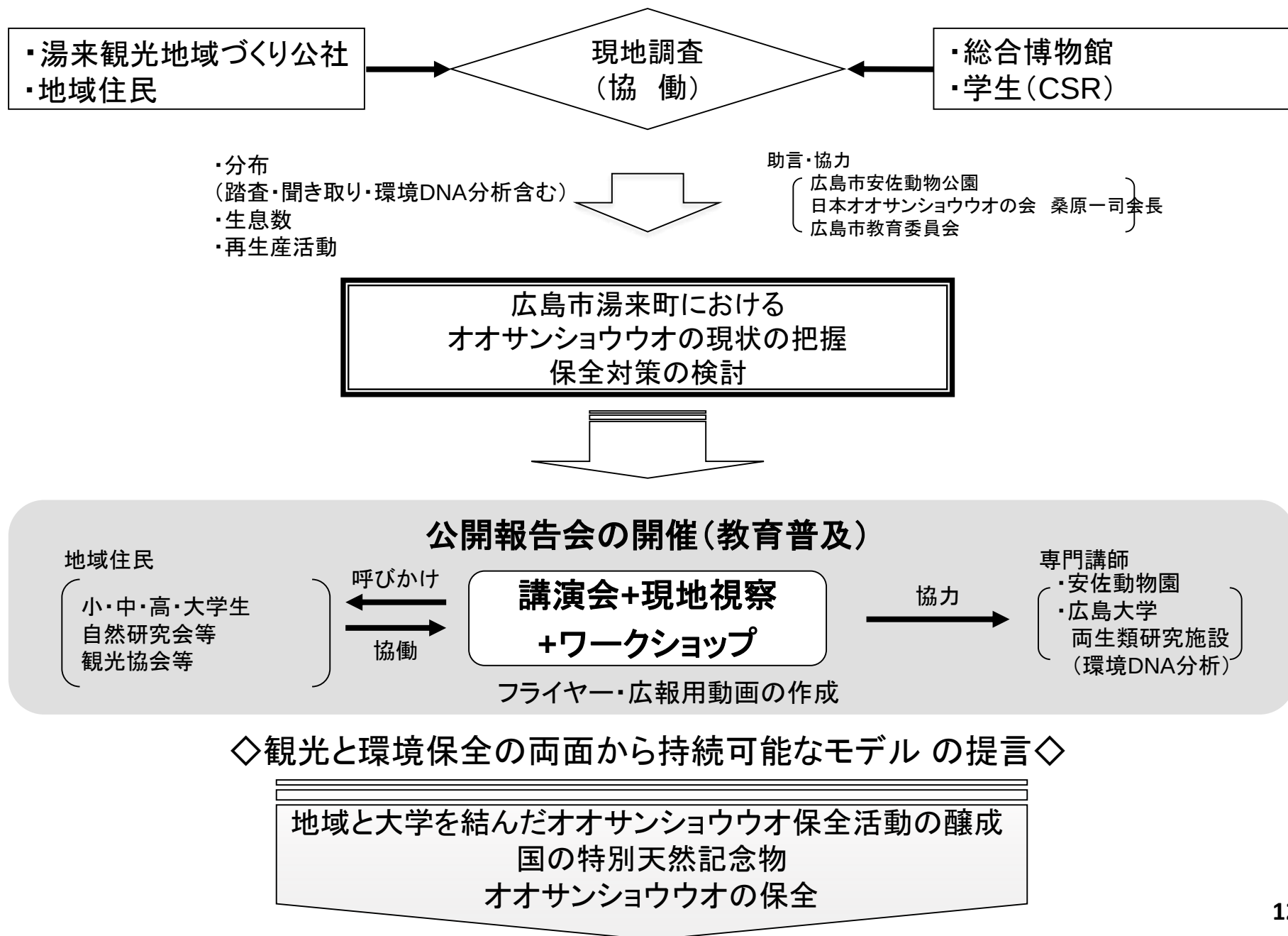
ビジターセンター



ノウハウのマニュアル化

展望

- ①博物館の持続的発展
- ②インバウンド対応のパンフレットとの関連付け
- ③学術的な情報の蓄積



『移住体験ツアーの開発 × とびしまライフ』

移住希望者、又は、地域ともっと深い関係を持ちたい人向けの「移住体験ツアー」の開発と実施を実現したいです。とびしま海道のUSPs(Unique Selling Points)を学生の目線で再発見し、それに基づいた移住体験ツアーのコンテンツを開発したいと思っています。



とびしま海道は、広島県内で高齢化率が非常に高い(52%~70%)地域とあります。とびしま海道のコミュニティの持続性や回復力(resilience)がある未来を確保するためには、移住者を増やす必要があります。

プロジェクトの経緯と目的

とびしま海道の移住者率はまだ少なく、まだまだ理想な移住先として、全国的に認識されていません。とびしま海道の移住者仲間が「とびしまライフ」を2020年5月に立ち上げ、とびしま海道の移住促進や移住希望者のサポートを行なっています。とびしまライフアドバイザー10人の内の5人は、現役の地域おこし協力隊でもあります。とびしまライフは移住希望者を集めるイベントや移住体験ツアーを企画するつもりです。しかし、この団体は最近設立された為、移住体験ツアーに含むコンテンツや体験について十分検討できていません。広島大学がとびしまライフと連携し、学生や教員がとびしま海道の魅力やUSPを新鮮な視点から発見し、それをベースに移住体験ツアーのコンテンツを開発する事が望めます。

地域団体: とびしまライフ (代表 宮川トム)

教員・提案責任者: Zollet Simona(助教)、産学連携推進部; 岩本 洋子(准教授)、大学院統合生命科学研究科

学生チーム: 田中春香(代表)、片山開貴、隅田 全、吉田 淳樹(広島大学校友会学生チーム代表; 広島大学ボランティア団体アイリス代表; ぐっけみ代表; 地域盛り上げ隊「たのした」)



www.tobishimalife.net

プロジェクトの活動内容

- ① 学生がインタビューや現地訪問を通じ、**移住者視点からのとびしま海道の生活課題等を調査します。**学生は主導的に、現地の移住者や地元関係者に伺う質問の内容を作成し、移住促進に関する重要な課題を洗い出します。さらに、現地訪問でとびしま海道の生活、風景、コミュニティの特徴を肌で感じます。
- ② 学生がとびしまライフのアドバイザーと協力し、フィールドワークを元に**移住体験ツアーのコンテンツを開発します。**広島大学の教員は、全体のコーディネーション及び移住に関する専門知識を提供します。

プロジェクトの成果の活用

主な成果物 → **移住体験ツアー**と関連する資料(パンフレット、動画、オンラインコンテンツ等)の開発。とびしまライフの今後の活動においても、プロジェクトの成果物を活用します。

島のコミュニティの未来を支える移住者との連携、学生の創造性、教員の専門知識が全て結ばれることで、地域の潜在的な可能性や、とびしま海道での生活の魅力もより明確になります。この観点から、**地域活性化に関連するSDGs、特にSDG11(住み続けられるまちづくりを)とSDG 17(パートナーシップで目標を達成しよう)**の推進にも貢献できます。

「みんなの夢アイディア」の実現で 「呉をワンダーランドに！」

街に夢とアイディアが溢れ、
安心安全で楽しく豊かな
ワンダーランドへ！



夢アイディア
実現



異分野融合
による具現化
(呉・広島大学)

マッチング
活動
(呉・広島大学)

次世代型
アドバイス
イベント
(呉)

みんなの夢アイディアコンテスト



社会の
課題



久比地区の水利用等住環境に関するサステナビリティの確立のための広島大学の瀬戸内拠点造り (水利用実践編)

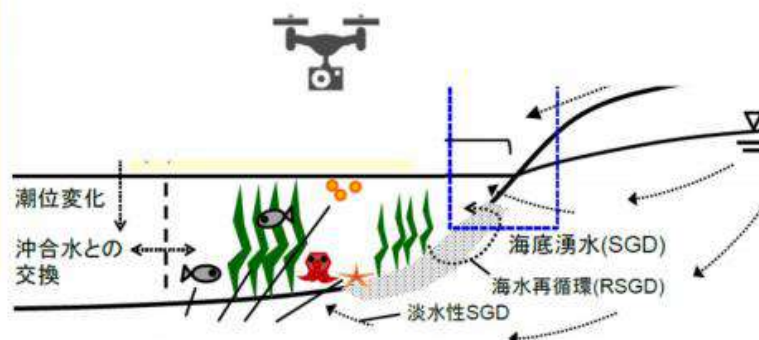
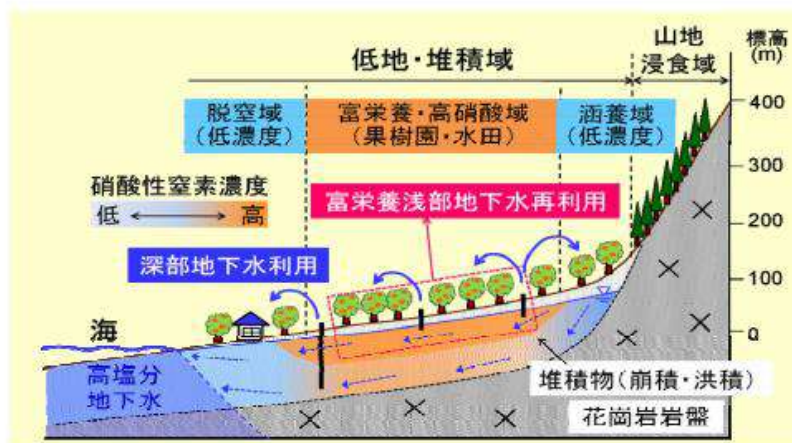
一般社団法人まめな

広島大学小野寺研究室

上流域: 森林エリア

中流域: 果樹園エリア

下流域: 宅地エリア



1) 水利用の実践プロジェクト

- ① スプリンクラーでの散水 (園芸、打ち水)
- ② 風呂、洗濯、トイレでの利用
- ③ そのための揚水能力試験と水質変化調査

2) 沿岸環境への影響調査

- ① 藻場調査 (ドローン撮影)